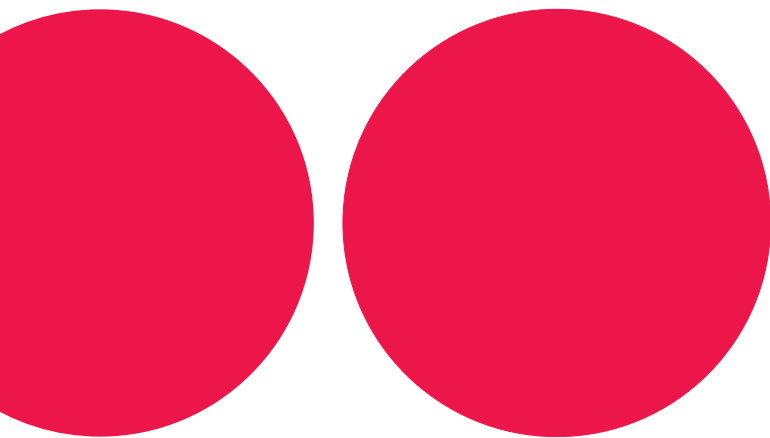


Polyend Mess Essentials

Polyend Mess 活用のための
リファレンス集



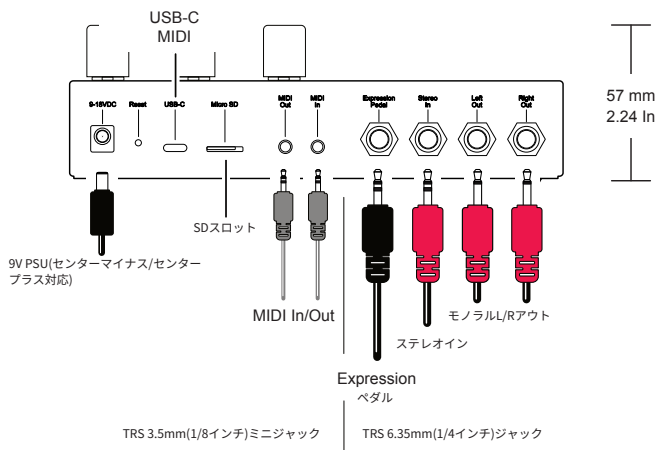
Overview

Mess(マルチエフェクト・ステップシーケンサー)は、シーケンス機能を備えた4トラックのエフェクトペダルです。従来のギター/楽器用ペダルとして使えるほか、あらゆる電子デスクトップシンセ環境とも好相性です。定番のリバーブやディレイに加え、Messは実験的なサウンドデザインを後押しする数多くのエフェクトを搭載し、ペダル形式ではこれまでになかった新しいエフェクト、モジュレーション、機能を導入しています。完全にカスタマイズ可能な4つのエフェクトトラックにより、アンビエントなサウンドスケープ、緻密なグリッチ・シーケンス、あるいはおなじみの4エフェクトチェーンまで――すべてが同期して動きます。Messは独立して使うことも、マルチエフェクトチェーンを組むこともできる4トラックで構成され、120種類を超えるエフェクトから選ぶことができ

る、その可能性はほとんど無限です。同時にMessは、伝統的なものから奇抜なものまで幅広いエフェクト、クリエイティブなシーケンシング、そしてコンパクトな設置面積を備えながらも、Polyendらしい個性と伝統をしっかり受け継いでいます。過激な奇妙さから伝統的なエフェクトまで、Messはそのどちらも得意とします。Messはエフェクトに対する考え方そのものを変えます。複数のパラメーターをシーケンスすることを前提に設計されたエフェクトにより、シーケンスのたびに新しい発見があります。ダイナミックなエフェクトが進化・変化し続けることで、単調な繰り返しに留まらない生き生きとしたサウンドを生み出します。内蔵のチャンスおよび確率コントロールにより、Messはこれまでのペダルにはないランダムなグリッチ、スタッター、リビートを生成できます。

Mess Essentials

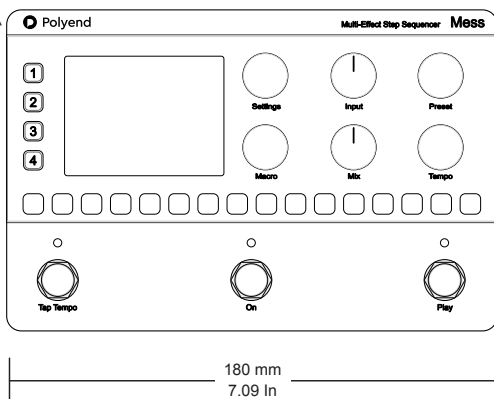
Hardware Overview

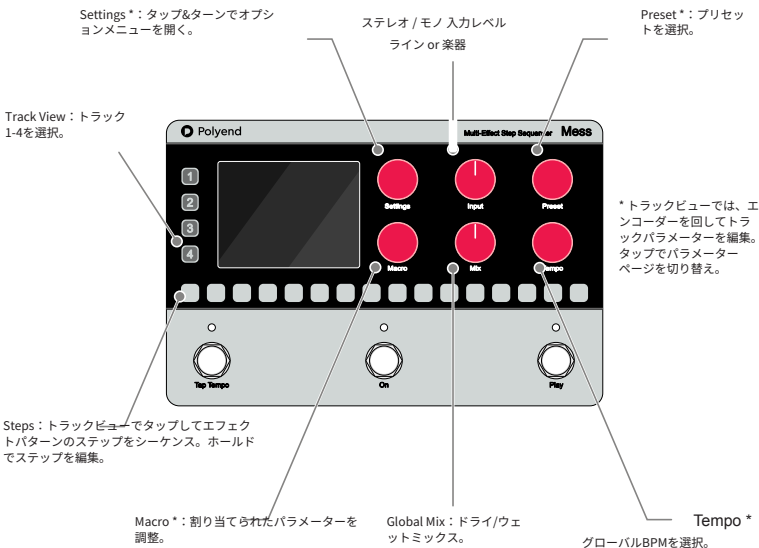


凹型のリセットボタンは、問題が発生した際にデバイスを復旧するのに役立ちます。起動時に押すと、microSDカードから以前のOSを読み込みます。ファームウェアフォルダに以前のOSファイルを残しておくとも便利です。

電源(パワーサプライ)は付属していません。標準的なペダル用電源(9-18V DC、最小560mA、センターマイナス/センタープラス両対応)をご使用ください。

重量 930 グラム





Play

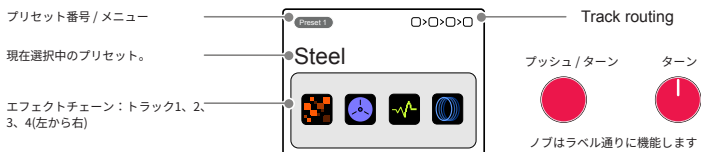
押してパターン再生を再生/停止。

Mess Essentials

Control and Screen View Conventions

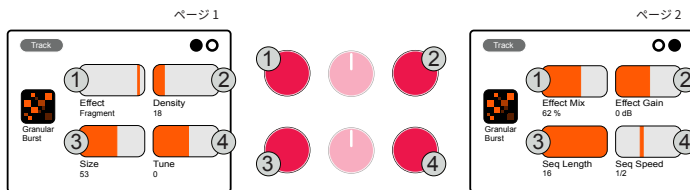
Messは2種類のビューのいずれかで動作します。Main screen(メイン画面)ビューは、すべてのトラックと設定を汎用的にコントロールするためのデフォルトの動作モードです。このモードでは、各ユーザーインターフェースノブを使ってエフェクトチェーン全体をコントロールできます。Track screen(トラック画面)ビューでは、4つのトラックそれぞれを個別に編集し、エフェクトを操作・モジュレートするステップパターンを作成できます。これにより、エフェクトシーケンスを通じて進化するサウンドやグリッチーなリズムが生まれます。トラック画面ビューは、トラック[1]~[4]のいずれかのボタンをタップすると選択されます。

Main Screen：トラックが選択されていないときのデフォルトページ。コントロールはラベル通りの機能で動作します。



Track Screen：トラックが選択されているときの操作環境のオプションを表示します。選択中のトラックボタンが点灯します。表示される4つのパラメーターはトラック設定を表し、対応する4つのプッシュ/ターン式エンコーダーで編集できます。いずれかのエンコーダーをタップすると2つのパラメーターページを切り替えられます。選択中のページはページアイコンで示されます。

各トラックには、エフェクト、シーケンサー長、シーケンサー速度、エフェクトミックス、エフェクトゲインという5つの汎用パラメーターオプションが用意されています。他の3つのパラメーターは、選択したエフェクトモデルに固有のもので、トラック[1]、[2]、[3]、[4]をタップしてトラックとトラックビューを選択します。



エフェクトパラメーターは、それぞれのエンコーダーノブでコントロールします。エンコーダーをタップするとパラメーターページが切り替わります。ノブを速く回すほど、パラメーターの増減幅が大きくなります。

Control Details

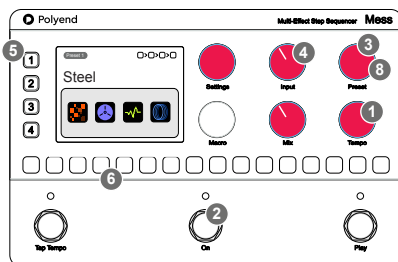
コントロール/機能		説明
Track View	Buttons 1-4	1~4を押してトラックを選択します。トラックビューは、選択した特定のトラックについてオン/オフされます。一度に選択・編集できるトラックは1つのみです。トラックのステップが再生されるとパッドが点滅します。Messのパッドは、トラックビューでエフェクトステップをシーケンスする際に使用します。
Steps	Pad buttons	16個のパッドを使ってエフェクトパターンをシーケンスし、ステップを作成します。ステップパッドをホールドすると、確率設定などの個別設定や挙動を変更できます。トラックシーケンサーはトラックビューでのみ編集できます。
Tap Tempo	Foot Switch	フットスイッチを連続してタップすると、そのタップ間隔をもとに30-400BPMの範囲でテンポ(1分間あたりの拍数)を設定できます。4回タップすることを推奨します。タップ回数は画面に表示されます。再生中はタップLEDがBPM設定に合わせて白く点滅します。
On	Foot Switch	エフェクトチェーンのオン/オフを切り替えます。「off」に設定すると、完全にドライなオーディオ信号がそのまま出力されます。「on」に設定すると、設定したエフェクトチェーンが元のオーディオに適用されます。ドライ/ウェットはコントロール可能です。
Play	Foot Switch	タップすると現在のパターンを再生します。ステップパッドはブレイヘッドの位置を示すように点灯します。トラックが選択されている場合、ステップパッドの色はトラックカラーを表します。再生中はPlay LEDが白く点灯します。
Settings	Push Encoder	グローバルビューでは、タップして設定メニューのオプションを開きます。ノブを回してメニューを移動します。タップするとサブメニューに入るか、オプションを選択します。トラックビューでは、左上のパラメーターであるエフェクトモデルまたはエフェクトミックスを編集します。ノブをタップするとパラメーターページが切り替わります。
Macro	Push Encoder	グローバルビューでは、マクロに割り当てられたパラメーターの値を調整します。マクロパラメーターは設定メニューで設定できます。トラックビューでは、右下のパラメーターであるエフェクト固有のパラメーターまたはシーケンサー長を編集します。ノブをタップするとパラメーターページが切り替わります。
Preset	Push Encoder	グローバルビューでは、プリセットを移動して選択します。移動・選択中にリアルタイムで自動的に読み込まれます。ノブをホールドすると保存メニューが開きます。トラックビューでは、右上のパラメーターであるエフェクト固有のパラメーターまたはエフェクトゲインを編集します。ノブをタップするとパラメーターページが切り替わります。
Tempo	Push Encoder	回すと30-400BPMの範囲でテンポ(1分間あたりの拍数)を調整します。変更は即座に適用されます。外部MIDIクロックは内部テンポより優先されます。トラックビューでは、右下のパラメーターであるエフェクト固有のパラメーターまたはシーケンサー速度を編集します。ノブをタップするとパラメーターページが切り替わります。
Input	Knob	メインのステレオオーディオ入力レベルを調整します。
Mix	Knob	元のオーディオとエフェクト処理後のオーディオの間のドライ/ウェットバランスを調整します。反時計回りいっぱいでは完全にドライな信号(元のオーディオのみ)を出力します。時計回りいっぱいでは完全にウェットな(エフェクト処理された)オーディオを出力します。

Mess Essentials

Quick Start with a Basic Effect Chain

4つのトラックそれぞれについて、エフェクトチェーンと16ステップのエフェクトパターンを作成できます。細かい仕組みはあまり気にせず、まずは始めてみて、詳しくは後から学んでいくというのがおすすめです。

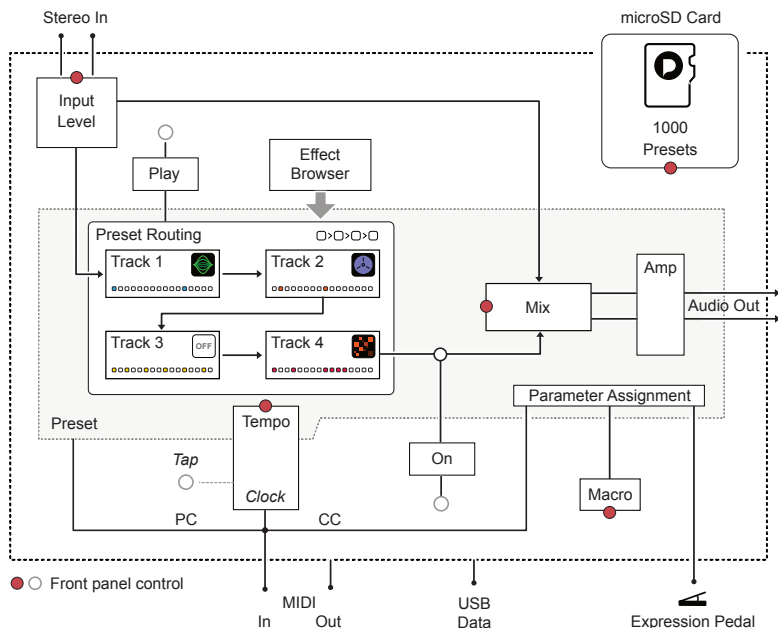
1. メイン画面(トラック未選択)から始めます。まずは(Tempo)を回して110 BPMに設定します。これは後から変更できます。
2. 楽器をステレオインプットに接続します。デバイスのインピーダンスに合わせて、ライン入力または楽器入力に設定を変更できます。フットスイッチ[On]がオフ(LED消灯)になっていることを確認してください。
3. (Preset)を回して空のプリセットを選択します。
4. (Input)を起点として下げておきます。デバイスを鳴らしながら、適切な入力レベルに設定します。



5. [1]をタップしてトラック1ビューを開きます。ビューには2つのページがあり、(Settings)をタップするとページが切り替わります。最初のページで(Settings)を回してエフェクトを選択します。[On]をタップしてエフェクトを「On」(LEDが白く点灯)にすると、外部楽器を鳴らしながら音を確認できます。エンコーダーノブを回して音を調整します。
6. シーケンサーの[Pad]をいくつかタップしてエフェクトトリガーを設定します。[Play]を押すとシーケンサーが作動し、出力音を確認できます。ステップをホールドしてパラメーターエンコーダーを調整すると、ステップごとの設定を変更できます。設定を調整しながら色々試してみてください。
7. トラック[2][3][4]も手順4・5を繰り返し、チェーンを構築。
8. アクティブなトラックボタン[1]~[4]をタップするとトラックの選択が解除され、メインビューに戻ります。(Preset)をホールドするとサブメニューが開き、作成したプリセットを保存できます。名前を付けるオプションも表示されます。

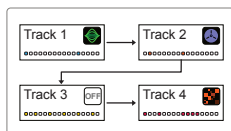
Presets

プリセットとは、4つのトラックすべてについて、その設定やパラメーターを含めてまとめたものです。プリセットは保存しておき、後で呼び出して使うことができます。プリセットを使うことで、共有もできる制作用・サウンドデザイン用・演奏用エフェクトのライブラリを構築できます。



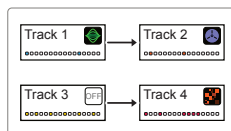
ルーティング

Series ○>○>○>○



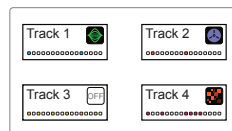
オーディオはトラック1→2→3→4の順に直列で流れます。

Dual Parallel ○>○ ○>○



オーディオはトラック1・2を直列で通過し、同時にトラック3・4も直列で通過します。この2つのペアは並列に動作します。

Parallel ○ ○ ○ ○



オーディオは各トラックを個別に通過します。トラックは並列に動作します。

Mess Essentials

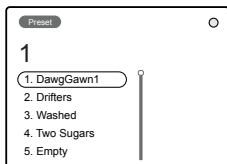
Messを使い始める際の起点となるのはプリセットを開くことです。4つの空のトラックからなる空のプリセットを開くか、以前作成したプリセットを開いてさらに編集したり、演奏やスタジオ作業で使用したりできます。

プリセットを選ぶ



----- 回してプリセットブラウザーを開く

Preset



(Preset)を回して移動・選択します。プリセットは移動中にリアルタイムで自動的に読み込まれます。

新しいプリセットを作成するには「Empty」のソングスロットを選ぶか、既存のプリセットを選択します。

microSDのアクセス状況は右上に表示。

プリセットを保存

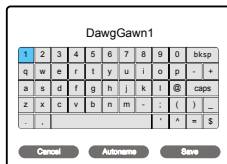


----- ホールドで保存メニューを開く。

Preset



ネーミング画面



保存オプション画面

現在選択中のプリセットの保存オプションに移動します。(Preset)を回して移動し、(Preset)をタップして確定します。microSDカードには1000個のプリセットスロットが用意されています。

ネーミングページが開き、選択した名前で作成するための編集・確認ができます。(Preset)を回して英数字を移動し、(Preset)をタップしてハイライトされた文字・コマンド・オプションを選択します。

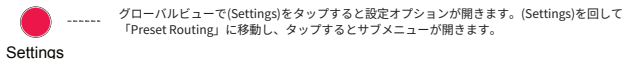
保存メニュー内からプリセットリストの並び替えが可能です。読み込まれたプリセットはリストの下部に配置されますが、保存メニューのオプションにある「Reorder」を使うことで、より上位に移動できます。

ユーザーインターフェースノブでプリセットを移動する方法のほか、フットスイッチを使う方法もあります。{Play}で昇順にプリセットを切り替え、{Tap Tempo}で降順にプリセットを切り替えます。スイッチを押すたびにプリセットが切り替わります。



通常動作モードでは、フットスイッチはラベル通りに機能し、LEDは白色で点灯します。

プリセットルーティングの設定



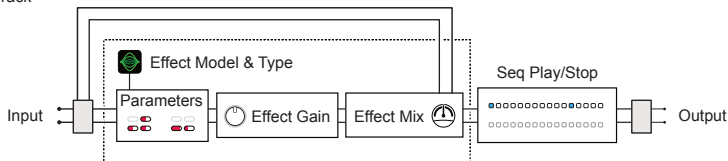
Series、Dual Parallel、Parallelのいずれかに設定します。グローバルビュー・トラックビューいずれのメインページでも、現在のルーティングが表示されます

- ☐ > ☐ > ☐ > ☐ Series.
- ☐ > ☐ ☐ > ☐ Dual Parallel.
- ☐ ☐ ☐ ☐ Parallel.

トラック

エフェクトトラックは、特定の順序でルーティングまたはチェーンされたステレオエフェクトの集合として動作します。ただし、どのトラックも構造は同じです。各トラックに個性と特徴を与えているのは、エフェクトモデルの設定、パラメーター設定、そしてパターンです。

Track



Mess Essentials

Creating an Effect Chain

エフェクトチェーンは、トラックの一部またはすべてを使って作成できます。トラックのルーティングは設定で変更できますが、ここでは簡単のため、デフォルトのシリーズルーティング(トラック1-4が直列に動作)を前提とします。各トラックにはエフェクトを読み込むことも、オフのままにしておくこともできます。エフェクトの設定・編集はトラックビューで行います。シーケンスを使わない場合は、通常のエフェクトチェーンとして動作します。

トラックを選択

- Track 1 **1** トラックをタップ(例:[Track 1])すると編集対象として選択されます。トラックビューは、対応するトラックボタンの点灯で示されます。各トラックにエフェクトを読み込みます。
- Track 2 **2**
- Track 3 **3**
- Track 4 **4** エフェクトを入れ替えるには、最初のトラックをホールドし、入れ替え先をタップ(例:[1]ホールド+[3]タップ)。

トラック入替

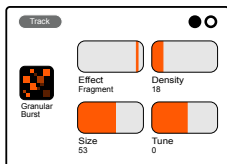
- Track 1 **1** ホールド
- Track 2 **2**
- Track 3 **3** タップ
- Track 4 **4**

エフェクトを割当



----- トラックビューで(Settings)を回しエフェクトを選択。

Settings



(Settings)を回してエフェクトタイプとエフェクトを選択します。これはトラック設定のページ1にある4つのパラメーターのうち、左上に表示されます。

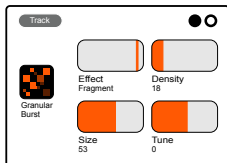
(Settings)をホールドしながら回すと、エフェクトタイプを飛ばしながら移動できます。

エフェクトを編集する

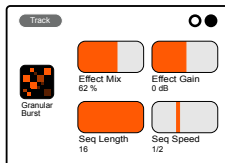


----- トラックビューでは、エンコーダーをタップでページ切替、回してパラメーターを編集。

ページ 1



ページ 2



エフェクトカテゴリとプリセットの概要

Panning	ステレオの広がりを調整。	
Simple	ステップ単位のパン。	
Drift	パンニングのLFOコントロールはテンポに同期せず、ステレオフィールド内を自由に漂います。	
Synced	選択したテンポと分割に基づいてパン信号を同期します。	
Shaper	サウンドを整形・強調・破壊するウェーブシェイパー群。	
Saturator	繊細なハーモニック歪み。	
Overdrive	ブレイクアップ寸前まで追い込んだドライブ感。	
Diode Clipper	対称型ダイオードクリッピング。	
Diode Clipper+	非対称型ダイオードクリッピング。	
WaveShaper	サイン波で信号を整形します。	
WaveShaper+	歪ませた波形で信号を整形します。	
Fuzz	クラシックなファズ。	
Exciter	高域を強調します。トーンノブで強調する周波数帯を選択します。	
Bitcrusher	オーディオ信号のビット数を減らします。	
Rectifier	バイポーラ信号をユニポーラに変換し、クリップしたドライブトーンやオクターブアップ効果を生み出します。	
Redux	サンプルレート・リダクション。	
Redux+	より強い効果を生む、別方式のサンプルレート・リダクションアルゴリズム。	
Filter	特定の周波数を減らす、または増やします。	
Highpass	選択したフィルター周波数より上の高域を通し、低域をカットします。	
Lowpass	選択したフィルター周波数より下の低域を通し、高域をカットします。	
Bandpass	特定の帯域のみを通し、それより高い/低い周波数をカットします。	
Lowshef	急激なカットなしで低域をブースト/カットします。	
Highshef	急激なカットなしで高域をブースト/カットします。	
Format	シーケンス可能な母音オプションを備えた、ボーカル風のレゾナントフィルター。	
Equalizer	低域・中域・高域のゲインバンドをコントロール。	

Mess Essentials

Pitch Shifter	モノフォニック・ピッチトラッキングによるピッチシフト。	
Tonal	品質コントロール付きの標準的なピッチトラッキング・ピッチシフター。	
Textural	極端なピッチ変化でユニークな結果を生むテクスチャー系ピッチシフター。	
Spectralizer	リアルタイムの周波数スペクトラム操作。	
Expander	広く持続的なフィールドを生成。	
Screamer	タイトなアルゴリズムでドラムに好適。	
Micro Looper : 4倍速〜1/16ステップ長でオーディオをスライス。		
Slice	選択したステップをスライスしてリピートします。ピッチの下降・上昇はテンポに同期します。	
Stereo Slice	L/Rピンポンモードでのスライスリピート。ピッチの下降・上昇はテンポに同期します。	
Dropper	スライスはテンポ同期、ピッチは自由に変化。	
Stereo Dropper	スライスはL/Rピンポンモードでテンポに同期しますが、ピッチはテンポとは無関係に自由に変化します。	
Rev	スライスを逆再生します。	
Stereo Rev	スライスをL/Rピンポンの逆再生モードで再生します。	
Reverb	マルチモード・リバーブ。	
Chamber Reverbs : 広大な大聖堂のような広い空間を再現。4種類のモデルを用意。		
Hall Reverbs	Hall Reverbs : 暗いホールから明るい空間まで。5モデル。	
Plate Reverbs	Plate Reverbs : メタリックなプレートを再現。4モデル。	
Room Reverbs	Room Reverbs : クラブからガレージまで。7モデル。	
Warped Reverbs : ねじれ、モジュレートされ、揺れ動くリバーブレーション。6種類のモデルを用意。		

Delay	多彩なディレイ。	
Multi-tap delay	ダブル/トリプルタップディレイモード。5種類のモデルを用意。	
Pingpong delay	左右にピンポンするステレオディレイ。3種類のモデル。	
Analog Delay	BBDからマグネティックドラムヘッドまで、アナログディレイ回路をシミュレート。5種類のモデルを用意。	
Tape Delay	アナログテープ式ディレイを再現。4種類のモデルを用意。	
LoFi Delay	実験的にモジュレートされたローファイ・ディレイ。2種類のモデルを用意。	
Single Delay	シングルタップのモノラルディレイ。3種類のモデルを用意。	
Unsynced Delay	比率ではなくHzでシーケンス可能な、自由走行するディレイライン。テンポに縛られないアウト・オブ・タイムなエフェクトを生みます。3種類のモデルを用意。	

Modulation	多彩なモジュレーション。	
Analog Chorus	ダブル/トリプルタップディレイモード。6種類のモデルを用意。	
Stereo Chorus	ゆったり広いステレオ感からクロスモジュレーション・フィードバックまで。4種類のモデルを用意。	
Vibrato	繊細なピッチのゆらぎ。2種類のモデルを用意。	
Flanger	クラシックからジェット機風まで。7モデル。	
Phaser	ゆったりしたスweepから渦巻くようなリップルまでのフェイズサウンド。3種類のモデルを用意。	
Tape Modulation	テープ風のモジュレーション。2種類のモデルを用意。	
Reel	Reel	
Synched Tremolo	テンポに同期するトレモロ。比率はシーケンス可能です。	
Unsynced Tremolo	テンポに縛られず、トレモロの速さをシーケンスできます。	

Granular Burst	入力音に基づいてリアルタイムにグラニューパーセントが変化し、シーケンサーがグラニュー再生のパラメーターをコントロールします。	
Portrait	サンプリングしたオーディオに応じて、リピーターやドロップアウトのようなサウンドを生む大きめのグラニューラウィンドウ。	
Fragment	信号を細かいフラグメントにスライスし、ピッチを変化させます。	
Blur	グレインをぼんやりとしたブルーの中でリピート再生します。	
Burst	再トリガーまでグレインを持続する長尺エフェクト。	

Mess Essentials



Particle Sampler : アクティブなステップごとにオーディオを
グラニューラーエンジンへ送りサンプリング。

Flux 進化するグレインを生む変化系グラニューラーエフェクト。

Scanner オーディオの小さな断片をスキャンして取り出します。

Noisy サウンドの汚れた断片。

Capsize パーティクルに揺らぎを加えます。

Scatter サンプルを広い時間範囲に散らし、グリッチーなウォッシュを生み出します。

Sequencing Effect Tracks

4つのトラックにはそれぞれ16ステップのシーケンサーがあり、その長さに沿ってエフェクトをシーケンスできます。アクティブなステップはそれぞれ対応するエフェクトをトリガーし、各ステップには個別のパラメーター設定をプログラムすることもできるため、エフェクトに時間経過に伴うさらなるバリエーションと動きを加えられます。

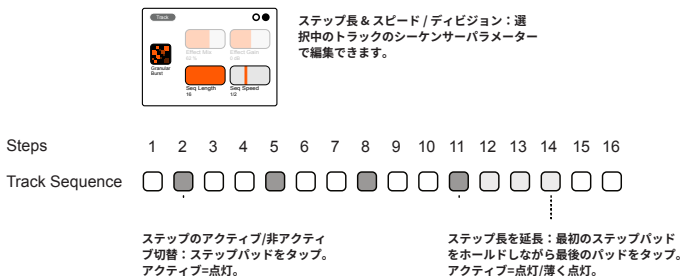
シーケンサーをコントロールする

ステップパラメーターを適用するには、シーケンサーが再生中である必要があります。再生とエフェクトのオン/オフは、トラックモード・グローバルモードのいずれでもコントロールできます。



シーケンスを作成・編集する

選択したエフェクトトラックについてパターンを編集できます。例:トラック[1]を押してトラックを選択します。



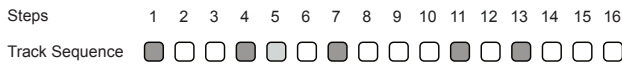
編集できるパラメーターはエフェクトタイプにより異なります。Play chanceは全エフェクトで、ステップの発生確率を設定します。

Mess Essentials

Play Chance ステップパラメーター

Play chance(発生確率)には、再生中にアクティブなステップがエフェクトをトリガーするかどうかを決める複数のオプションがあります。これは「ステップ確率」と呼ばれることもあります。ロジック系またはパーセンテージ系のオプションが用意されており、各ステップにそのいずれかを割り当てられます。Play chanceはステップごとにのみ設定でき、グローバルパラメーターとしては使用できません。

Play Chance：デフォルトは「Always」です。アクティブなステップはトリガーのたびにエフェクト設定を発動します。[Pad]をホールドしながら(Settings)を回すとオプションを選択できます。



例 60%：ステップが60%の確率でエフェクトをトリガー Play 1 Skip 1：最初と奇数番目のサイクルでのみエフェクトをトリガー。

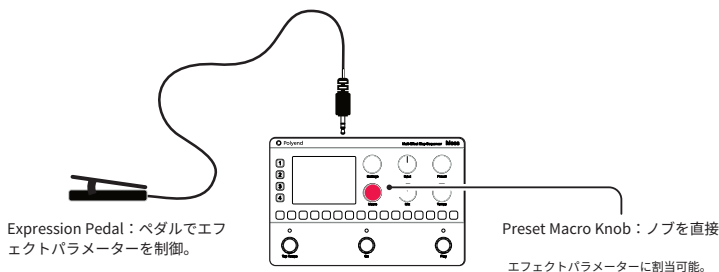
Like Last：直前にアクティブだったステップがトリガーした場合、このステップもトリガー。

オプション	説明
Always	これはデフォルトの標準モードです。アクティブなステップは各パターンサイクルで100%トリガーします。
Chance 10-90%	各サイクルでステップがトリガーする確率を設定します。パーセンテージの値が高いほど、トリガーする確率が高くなります。
Like Last	このステップは直前のトリガー結果を参照し、同じロジックを適用します。直前のステップがトリガーした場合、このステップもトリガーします。
Play X Skip Y	このロジックは、シーケンサー再生サイクルの合計カウントX+Yに基づきます。Playはステップがトリガーされる、すなわちエフェクトのステップパラメーターが適用されることを意味します。Xは、skipが適用されるまでに何サイクル分ステップエフェクトをトリガーするかを設定します。その後Skipは、カウントがリセットされるまでYサイクル分ステップを無視します。その後Playが再びXから始まり、これを繰り返します。

Skip X Play Y このロジックは、シーケンサー再生サイクルの合計カウントX+Yに基づきます。Skipはステップが無視される、すなわちエフェクトのステップパラメーターが適用されないことを意味します。Xは、playが適用されるまでに何サイクル分ステップを無視するかを設定します。その後Playは、カウントがリセットされるまでYサイクル分ステップエフェクトをトリガーします。その後Skipが再びXから始まり、これを繰り返します。

Macros & Expression Pedal

インターフェースの(Macro)ノブと外部エクスプレッションペダル入力は、割り当てたパラメーターを直接変更・モジュレートするよう設定できます。ノブに1つ、エクスプレッションペダル入力に1つ、それぞれパラメーターを割り当てられます。割り当ては設定(Settings)で行います。



パラメーターオプション : 使用できるパラメーターは、各トラックの現在のエフェクトによって異なります。設定は(Settings)内のプリセットマクロおよびエクスプレッションペダルのオプションで行います。最大5つのパラメーターをモジュレートできます。

オプション

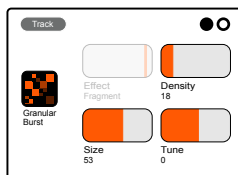
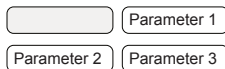
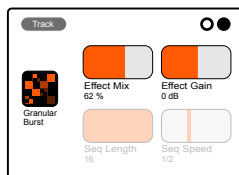
Track x Param 1

Track x Param 2

Track x Param 3

Track x Gain

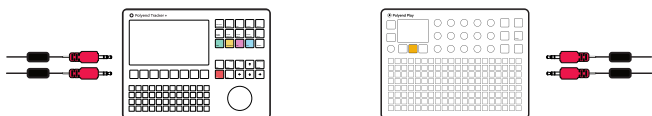
Track x Mix



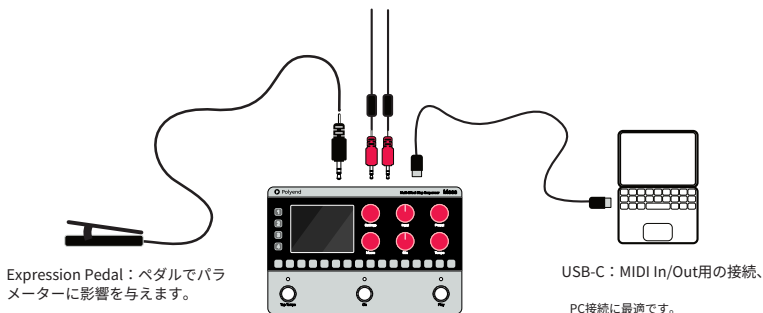
Mess Essentials

MIDI Interface

Messは、MIDI 3.5mmジャックを通じてMIDIメッセージを送受信できます。MIDI InにはType AまたはBを、MIDI OutにはType Bを使用できるほか、USB-CインターフェースでもMIDIメッセージを送受信できます。Messはプリセットを切り替えるプログラムチェンジ(PC)メッセージと、マッピングされたパラメーターを変更するコントロールチェンジ(CC)メッセージに応答します。クロックとトランスポートも、内部で管理するか、外部MIDIコントローラーで管理できます。



MIDI TRS In/Out : 他機器とのI/F



Expression Pedal : ペダルでパラメーターに影響を与えます。

USB-C : MIDI In/Out用の接続、PC接続に最適です。

クロック関連

Messの再生開始/停止とテンポをコントロールするには、それぞれのメッセージを送信するポートについて外部MIDI設定を行います。また、MIDI設定で同様に構成することで、Messからクロックとトランスポートを他のデバイスへ送信することもできます。

Messは、16の標準MIDIチャンネルのいずれかで受信したMIDIメッセージにも反応します。

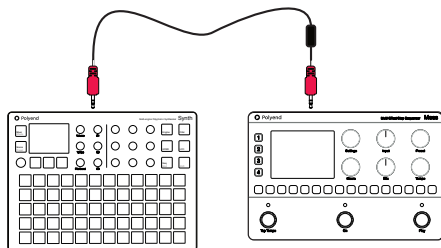
MIDI CC マッピング

Messのパラメーターには、あらかじめ定義された一連のMIDIマッピングが用意されています。CC(コントロールチェンジ)メッセージは、受信したMIDIメッセージを使ってパラメーターの値に影響を与えます。

CC番号に割り当てられたMIDI CCコントロールは、対応するMessの送信先をコントロールします



Polyend Synth : MIDIコントローラーの例。Synthの「MIDI Instrument」オプションを使うと、ノブからCCメッセージを送信できます。



Track 1	CC #
Effect Mix	70
Effect Gain	74
Parameter 1	80
Parameter 2	84
Parameter 3	88
Track 3	CC #
Effect Mix	72
Effect Gain	76
Parameter 1	82
Parameter 2	86
Parameter 3	90
Global	CC #
Global Mix	78
Global Input	79

Track 2	CC #
Effect Mix	71
Effect Gain	75
Parameter 1	81
Parameter 2	85
Parameter 3	89
Track 4	CC #
Effect Mix	73
Effect Gain	77
Parameter 1	83
Parameter 2	87
Parameter 3	91

Mess Essentials

PCメッセージでプリセットを切り替える

MessがMIDI PCメッセージを受信すると、プリセットが切り替わります。最初の128個のプリセットは、受信したMIDI PCメッセージでアクセスできます。プログラムチェンジメッセージは多くのハードウェア機器やDAWから送信できますが、Mess側でも受信したMIDI PCを受け付けるよう設定する必要があります。設定すべきオプションは以下の通りです:-

(Settings) > MIDI > PC In を押す ... PCのMIDI入力を設定(例:USB)

(Settings) > MIDI > PC In Channel を押す ... MIDI入力チャンネルを設定(例:2)

MIDI PCコントロールにより、1-128のプリセットの範囲でMessのプリセットが切り替わります。

Controller



PC#3

Mess

Preset 1

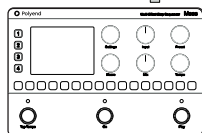
Preset 2

Preset 3

Preset

Preset 128

DAW or Controller : デバイスによってPCメッセージが0または1のいずれから始まるかが異なります。機器間のPC番号がきちんと対応しているか、実際に試して確認することをおすすめします。



USB-C インターフェース 例
:DAWからMIDI経由でPCメッセージを送信

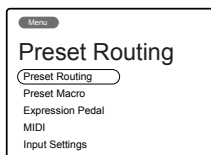
Settings

(Settings)ノブをホールドするとアクセスできるメインメニューには、複数のグローバル/トラックオプションが用意されています。移動・選択は(Settings)ノブを回す/押すことで行います。メニューオプションを選択すると、編集するパラメーターが指定されるか、サブメニューに移動します。メニュー構造を1つ戻る「Back」オプションや、「Exit」オプションが用意されている場合もあります。



ホールドでメインメニューへ。

(Settings)を回してオプションを移動します。押すとサブメニューまたはオプションを選択します。



ルーティング

オプション	説明
Series	オーディオは各トラック1-2-3-4を直列で通過します。
Dual Parallel	オーディオはトラック1-2を直列で、トラック3-4を直列で通過します。各ペアは並列に動作します。
Parallel	オーディオは各トラックを独立して通過します。すべてのトラックが並列に動作します。

マクロ

オプション	説明
Track 1 Param 1	マクロノブをパラメーター1に設定します。
Track 1 Param 2	マクロノブをパラメーター2に設定します。
Track 1 Param 3	マクロノブをパラメーター3に設定します。
Track 1 Gain	マクロノブをトラックゲインに設定します。
Track 1 Mix	マクロノブをトラックミックスに設定します。
Track 2 Param 1	マクロノブをパラメーター1に設定します。
Track 2 Param 2	マクロノブをパラメーター2に設定します。
Track 2 Param 3	マクロノブをパラメーター3に設定します。
Track 2 Gain	マクロノブをトラックゲインに設定します。
Track 2 Mix	マクロノブをトラックミックスに設定します。

Mess Essentials

Preset Macro (Continued)

オプション	説明
Track 3 Param 1	マクロノブをパラメーター1に設定します。
Track 3 Param 2	マクロノブをパラメーター2に設定します。
Track 3 Param 3	マクロノブをパラメーター3に設定します。
Track 3 Gain	マクロノブをトラックゲインに設定します。
Track 3 Mix	マクロノブをトラックミックスに設定します。
Track 4 Param 1	マクロノブをパラメーター1に設定します。
Track 4 Param 2	マクロノブをパラメーター2に設定します。
Track 4 Param 3	マクロノブをパラメーター3に設定します。
Track 4 Gain	マクロノブをトラックゲインに設定します。
Track 4 Mix	マクロノブをトラックミックスに設定します。
Master Input	マクロノブをマスター入力レベルに設定します。
Master Mix	マクロノブをマスターミックスに設定します。

ペダル設定

機能	オプション	説明
Mode	Expression Pedal	
	3 Button Switch	
	2 Button Switch	
Pedal Parameters	Track 1 Param 1	ペダルでパラメーター1を制御。
	Track 1 Param 2	ペダルでパラメーター2を制御。
	Track 1 Param 3	ペダルでパラメーター3を制御。
	Track 1 Gain	ペダルでトラックゲインを制御。
	Track 1 Mix	ペダルでトラックミックスを制御。

エクスプレッションペダル(続き)

機能	オプション	説明
Pedal Parameters		Track 2 Param 1：ペダルでパラメーター1を制御。
		Track 2 Param 2：ペダルでパラメーター2を制御。
		Track 2 Param 3：ペダルでパラメーター3を制御。
	Track 2 Gain	ペダルでトラックゲインを制御。
	Track 2 Mix	ペダルでトラックミックスを制御。
		Track 3 Param 1：ペダルでパラメーター1を制御。
		Track 3 Param 2：ペダルでパラメーター2を制御。
		Track 3 Param 3：ペダルでパラメーター3を制御。
	Track 3 Gain	ペダルでトラックゲインを制御。
	Track 3 Mix	ペダルでトラックミックスを制御。
		Track 4 Param 1：ペダルでパラメーター1を制御。
		Track 4 Param 2：ペダルでパラメーター2を制御。
		Track 4 Param 3：ペダルでパラメーター3を制御。
	Track 3 Gain	ペダルでトラックゲインを制御。
	Track 3 Mix	ペダルでトラックミックスを制御。
	Master Input	ペダルでマスター入力レベルを制御。
	Master Mix	ペダルでマスターミックスを制御。

MIDI

機能	オプション	説明
Clock In	Internal	テンポなどの時間ベースの機能に内部クロックを使用します。
	Jack	テンポなどの時間ベースの機能に、MIDIジャック入力に接続した外部クロックを使用します。クロックが認識されると、テンポ表示に「Ext」と表示されます。
	USB	テンポなどの時間ベースの機能に、USBに接続した外部クロック入力を使用します。クロックが認識されると、テンポ表示に「Ext」と表示されます。
Transport In	Off	外部トランスポート機能(再生など)はオフになり、無視されます。
	Jack	再生などのトランスポート機能は、MIDIジャック入力に接続した外部デバイスからコントロールされます。
	USB	再生などのトランスポート機能は、USBに接続した外部デバイス入力からコントロールされます。

Mess Essentials

MIDI(続き)

機能	オプション	説明
PC In	Off	外部プログラムチェンジ機能はオフになり、無視されます。
	Jack	ソングを切り替えるプログラムチェンジメッセージは、MIDIジャック入力に接続した外部デバイスからコントロールされます。
	USB	ソングを切り替えるプログラムチェンジメッセージは、USBに接続した外部デバイス入力からコントロールされます。
	USB & Jack	ソングを切り替えるプログラムチェンジメッセージは、MIDIジャックまたはUSBに接続した外部デバイス入力からコントロールされます。
PC In Channel	Omni	すべてのチャンネルでプログラムチェンジメッセージを受信します。
	1-16	プログラムチェンジメッセージを受信する個別のMIDIチャンネルを選択します。
CC In	Off	外部コントロールチェンジ機能はオフになり、無視されます。
	Jack	パターンを切り替えるコントロールチェンジメッセージは、MIDIジャック入力に接続した外部デバイスからコントロールされます。
	USB	パターンを切り替えるコントロールチェンジメッセージは、USBに接続した外部デバイス入力からコントロールされます。
	USB & Jack	パターンを切り替えるコントロールチェンジメッセージは、MIDIジャックまたはUSBに接続した外部デバイス入力からコントロールされます。
CC In Channel	Omni	すべてのチャンネルでコントロールチェンジメッセージを受信します。
	1-16	コントロールチェンジメッセージを受信する個別のMIDIチャンネルを選択します。
Clock Out	Off	内部クロックは送信されません。
	Jack	内部クロックはMIDIジャック出力から送信されます。
	USB	内部クロックはUSB出力から送信されます。
	USB & Jack：内部クロックはMIDIジャックおよびUSB出力の両方から送信されます。	
Transport Out	Off	内部トランスポートコントロールは送信されません。
	Jack	内部トランスポートの再生/停止コントロールはMIDIジャック出力から送信されます。
	USB	内部トランスポートの再生/停止コントロールはUSB出力から送信されます。
	USB & Jack	内部トランスポートの再生/停止コントロールはMIDIジャックおよびUSB出力の両方から送信されます。
Back	メニュー構造の1つ上の階層(メインメニューレベル)へ戻るコマンドです。	

インプット設定

機能	オプション	説明
Mode	Instrument	入力をインストゥルメント入力(例:ギター)向けに設定します。
	Line	入力をライン入力(例:シンセ)向けに設定します。
Channels	Mono	「Stereo Input」ソースをモノラルTS信号を受け付けるよう設定します。
	Stereo	「Stereo Input」ソースをステレオTRS信号を受け付けるよう設定します。
Back		メニュー構造の1つ上の階層(メインメニューレベル)へ戻るコマンドです。

LED輝度

機能	オプション	説明
Leds Brightness	High	LEDの最も明るい設定。
	Medium	LED輝度を中程度に設定。
	Low	LEDの最も暗い設定。

ファームウェア

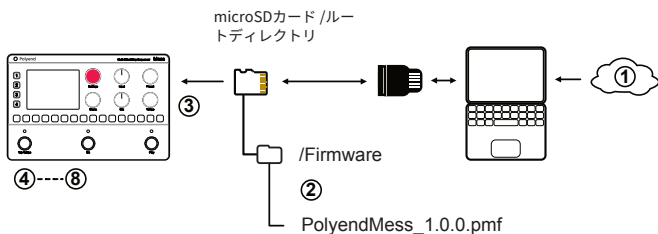
オプション	範囲	説明
Update Firmware : コマンド		microSDカードからファームウェアファイルを選択し、ファームウェアバージョンを更新します。
Version	インジケータのみ	現在のファームウェアバージョンの情報。
Build	インジケータのみ	現在のファームウェアのビルドバージョン。

Firmware Update

Polyendでは、不具合の修正や新機能の追加のため、定期的にファームウェアアップデートを提供する場合があります。更新作業はいくつかの方法で行えます。アップデートの際は、各アップデートに付属するPolyendの説明書に必ず従うことを強くおすすめします。ここでの説明はあくまで一般的なガイドです。Polyendサイトで製品登録・購読をすると、アップデートやさらなる情報にアクセスできます。

■ ファームウェア更新

1. Polyendアカウントから最新のファームウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードした.pmfファームウェアファイルを/Firmwareフォルダにコピーします。このフォルダはmicroSDカードのルートディレクトリにあります。
3. microSDカードをMessに挿入し、電源を入れます。
4. (Settings)ノブを押して、メインの設定メニューを開きます。
5. 移動して「Firmware」サブメニューをハイライトします。「Update Firmware」機能を開き、インストールするファームウェアバージョンをハイライトします。
6. (Settings)ノブを押してファームウェアを選択します。
7. ファームウェアがインストールされ、画面の指示に従って進みます。インストールは通常1分未満で完了します。
8. 完了するとMessが自動的に再起動します。



Summary of Definitions

Mess: 私たちの4トラック・マルチエフェクト・シーケンサーペダルの名称です。各トラックには16ステップシーケンサーが用意されており、進化するパターンやグリッチーなエフェクトパターンを作成できます。

Track(トラック): 各トラックは、1つのエフェクトモジュールとその設定で構成されます。これは入力されたオーディオを処理・加工するために使用します。各トラックには最大16ステップがあり、エフェクトパターンをプログラムするのに使用できます。4つのトラックは並列または直列にルーティングでき、複雑で興味深いエフェクトチェーンを構築できます。トラックが選択されると、Messはトラックビューになります。

Pattern(パターン): 4つのトラック(それぞれ最大16ステップ)について作成したシーケンスをパターンと呼びます。

Preset(プリセット): プリセットは、4トラックすべての設定と汎用設定をまとめて保存します。これにより、あらかじめ定義した設定のライブラリを作成・保存・呼び出せます。

Tempo(テンポ): クロックがMessペダルをコントロールし、シーケンサーの速度を30-400の範囲で1分あたりの拍数(BPM)として設定します。外部MIDIクロックを使ってMessのテンポをコントロールすることもできます。

Macro(マクロ): マクロは、選択したパラメーターをフロントパネルに引き出し、マクロノブで直接コントロールできるようにします。これにより、選択したパラメーターを手動で変化・調整しながら、その場でのアドリブや演奏をサポートします。

Play Chance(発生確率): Play chanceは、個々のステップに割り当てられる確率設定です。パーセンテージやシーケンサーロジックに基づいて、そのステップがシーケンス内で再生されるかどうかの確率を設定します。

Expression Pedal(エクスプレッションペダル): さまざまなパラメーターをコントロールするよう設定できる外部フットペダルです。これはオプションのサードパーティ製デバイスで、Messに接続して外部からコントロール・モジュレートできます。マクロノブとエクスプレッションペダルは、どちらも定義されたパラメーターをコントロールできます。

MIDI: MIDI(Musical Instrument Digital Interface)は、オーディオ機器間の通信に使われるプロトコルです。MessペダルはTRSまたはUSBコネクタを使ってMIDI Inを受け付け、MIDI Outを送信します。MIDIコントロールは、パラメーターの調整(CC)、トランスポートやクロックのコントロール、プリセットの切り替え(PC)に使用できます。

Changelog

OS & マニュアル 機能アップデート	マニュアル更新内容
1.0.0 a	リリースバージョン
1.0.0 b	ハードウェア概要。リセットボタンについての説明を明確化。USB MIDI。

Copyright © 2025 by Polyend

本書または本書のいかなる部分も、出版者の書面による明示的な許可なく、
いかなる方法でも複製・使用を禁じます。ただし書評での

簡単な引用はこの限りではありません。

英国にて制作

2025年6月 - Mess 1.0.0 b

www.synthdawg.com

Synthdawg

